

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2004-59853 (P2004-59853A)
【公開日】平成 16 年 2 月 26 日 (2004.2.26)
【年通号数】公開・登録公報 2004-008
【出願番号】特願 2002-223299 (P2002-223299)
【国際特許分類第 7 版】

C 0 9 J 7/02

C 0 9 J 201/00

【F I】

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 201/00

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 6 日 (2005.7.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

支持体の少なくとも片面に、2 層以上積層された粘着剤層を有する両面粘着シートにおいて、損失正接のピークを示す温度が - 5 0 以上かつ - 2 0 以下であり、かつ損失正接のピークが 1 . 4 以上である粘着剤層 a を有し、最外層として、損失正接のピークを示す温度が - 2 0 を越える粘着剤層 b を有する粘着剤層を支持体の少なくとも片面に設けたことを特徴とする両面粘着シート。

【請求項 2】

前記粘着剤層 a が、損失正接のピークを示す温度が - 5 0 以上かつ - 3 0 未満の粘着剤層 a 1 と、損失正接のピークを示す温度が - 3 0 以上かつ - 2 0 以下の粘着剤層 a 2 である請求項 1 記載の両面粘着シート。

【請求項 3】

前記粘着剤層中の粘着剤層 b と支持体との間の任意の位置に、損失正接のピークを示す温度が - 1 0 以上である粘着剤層又は弾性体層 c を有する請求項 1 又は 2 の何れかに記載の両面粘着シート。